

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年一月度 入選句（投稿総数千八百五十六句・小中生投句数千二百七十一句）

特選

選者 相馬 みさ子

たこ上げて私の馬が空走る 大垣市 林 心菜(小三)

今年、馬年。作者がたこ上げをして詠んだ一句。「私の馬が空走る」がいいですね。たこの絵は、馬。その馬がゆうゆうと空を駆け昇っていく姿が目には浮かびます。大空を馬が走るという表現が実にダイナミックで広がる希望さえ感じさせます。新年にふさわしい一句ですね。

初げい古一本取るぞぼくがさき 大垣市 安田 匡宏(小三)

剣道でしょうか。初げいこにのぞむ作者の意気込みが、よく伝わってきます。特に「ぼくがさき」を後に表現することで、作者の気持ちが強調され、力強く気迫に満ちた一句となっています。一年のスタートを切る初げいこへの作者の意欲とその姿勢にひきつけられました。

友達の笑顔が浮かぶ年がじょう 大垣市 林 真里奈(小五)

お正月の楽しみの一つは、年賀状ですね。特に友達からの年賀状は嬉しいものです。友達のことを思い浮かべて読む年賀状。作者は「友達の笑顔が浮かぶ」と詠んでいます。何とも幸せな心地よい気持ちになる一句です。心を伝える年賀状が、この一句を誕生させたのでしょうか。きっと、素敵な年賀状だったのでしょ。うね。

秀逸

みんな連れ登校班長冬の朝 大垣市 八木 春翔(小六)

毛糸編む母さんの指あたたかい 大垣市 阿部 愛聖(小五)

茶ばしらがたつてうれしい冬の夜 大垣市 藤井 仁志(小五)

落ち葉はきおちた分だけ冬がくる 大垣市 森井 結子(小五)

持久走きざむ鼓動と白い息 大垣市 中嶋 詠生(小六)

やきもちもぼくのほっぺもふくらんだ 大垣市 北浦 拓真(小三)

はつもうで家族そろって手を合わす 大垣市 森 喬 亮(小五)

かがみもち上でみかんが気どってる 大垣市 白井 莉菜(小五)

からからとおちばと風のおにごっこ 大垣市 石司 淳果(小四)

しもばしら土をもちあげちからもち 大垣市 三田 柊弥(小四)

入選

母さんと天体観そく冬の空 大垣市 奥野 龍聖(小六)

登下校みんなそろって息白し 大垣市 岡田 夏歩(小六)

街中に電飾灯るクリスマス 大垣市 水谷 鈴(小六)

のきしたのほしがりき一つ味見する 大垣市 大橋 佑香(小三)

福袋今年最初の一運試し 大垣市 谷藤 史織(小五)

雪の夜音ひとつせずつせひっそりと 大垣市 西村 理紗子(小五)

こま回しみんなたおしてチャンピオン 大垣市 太田 裕康(小五)

カエデの葉白いベールの雪げしよう 大垣市 石原 呼春(小五)

おせちにはいろんな願いつまってる 大垣市 竹中 亜優香(小五)

何度でも集計してるお年玉 大垣市 吉田 悠(小六)

入選

おぼあちゃん百人一首でようしやなし 大垣市 豊田 理綸(小六)

弟とのびるおもちを比べっこ 大垣市 伊藤 優花(小六)

ふと見上げ星落ちそうな冬の夜 大垣市 澤頭 侑奈(小六)

はかまいりゆきがつもったおじいちゃん 大垣市 小崎 聖也(小六)

お年玉今年も勝てないねえちゃんに 大垣市 安田 有輝(小三)

ほっぺたにそつとふれてく粉雪が 大垣市 安田 あずみ(小四)

カエルたち土の中でお正月 大垣市 一色 賢春(小四)

木がらしにおちばがダンスくるりんぱ 大垣市 柿本 理琴(小二)

うまどしだばかばかはしるゆめのせて 大垣市 柿本 理琴(小二)

ガラスふきおねえちゃんは上ぼくは下 大垣市 川瀬 雄一郎(小二)

選者吟

煤焼けの太き柱に餅の花

相馬 みさ子